

# 第 15 回東北放射線医療技術学術大会 (TCRT2025) 報告 (東北支部 第 63 回学術大会)

実行委員長 小澤友昭

令和 7 年 10 月 11 日(土)、10 月 12 日(日)、青森市のリンクステーションホール青森において第 15 回東北放射線医療技術学術大会(公益社団法人日本診療放射線技師会令和 7 年度東北地域学術大会ならびに公益社団法人日本放射線技術学会東北支部第 63 回学術大会の合同開催)がハイブリッド開催にて開催されました。今大会は新型コロナウイルスが 5 類へ移行し 3 年が経過し、ほぼ日常生活が戻ってはおりますが、本州最北端の青森県にはたしてどれくらいの参加者があるか心配をしておりましたが、参加者数が 512 名(現地参加 456 名、Web 参加 56 名)と多数のご参加を頂き誠に感謝しております。

大会テーマである「We can Transformation! 共創と共業」は放射線医療技術の進歩を支えるのは、個々の努力だけでなく、共創と共業の精神によるものだという佐藤大会長の熱い思いが込められています。大会内容も JART 企画、JSRT 企画、実行委員企画など皆様のお役に立つ充実した内容となったと思っております。一般演題発表においては 93 演題の発表が行われ、その中でも学生発表が 35 演題と年々確実に増えており数年前では考えられない数となっています。学術大会の核となる一般演題に積極的に取り組む学生発表を拝見し、放射線技術業界の将来は明るいと確信させられました。特別講演では弘前大学医学部附属病院の掛田伸吾先生に「毎朝のカンファレンスから考える北日本の放射線科診療:地域連携、教育、学会活動など」の題目で県内に点在する病院間のカンファレンスの取り組みをご講演していただきました。

情報交換会では日本診療放射線技師会上田克彦会長、日本放射線技術学会石田隆行代表理事も参加され、参加者に気さくに接しており時間が経つのを忘れるくらい大いに盛り上がりました。

最後に、無事今大会が何事もなく成功に終わったのは、日本診療放射線技師会東北地域放射線技師会、日本放射線技術学会東北支部、両団体の役員の皆様、青森県内の実行委員の皆様、協賛企業の皆様など沢山のご尽力があってこそこの賜物だと思います。この場をお借りして心より感謝とお礼を申し上げます。

## 大会概要

会 期 : 令和 7 年 10 月 11 日(土)、10 月 12 日(日)

会 場 : リンクステーションホール青森 (ハイブリッド開催)

テーマ : 「We can Transformation! 共創と共業」

参加者 : 512 名(会員 417 名、非会員 37 名、学生 52 名、招待 6 名)

参加形態(現地参加 456 名、Web 参加 56 名)

内 容 ; ①一般演題発表 93 演題、セッション数 18

内訳 青森(28)、岩手(9)、宮城(18)、山形(5)、福島(19)、新潟(3)、群馬(3)

②特別講演(1)、実行委員企画シンポジウム(2)、JART 企画(5)、JSRT 企画(8)

③ランチョンセミナー 4 社、ティータイムセミナー 2 社

④ハンズオンセミナー 1 社

⑤企業展示 18 社

開催協力 : 寄付 2 社、展示協賛 18 社、予稿集広告協賛 15 社、ランチョンセミナー 4 社、

ティータイムセミナー 2 社、ハンズオンセミナー 1 社

主 催 : (公社)日本診療放射線技師会 東北地域放射線技師会  
(公社)日本放射線技術学会 東北支部